

マノヴィッチ, レフ『ニューメディアの言語 デジタル時代のアート、デザイン、映画』
堀潤之訳, みすず書房, 2013.

・「既存のあらゆるメディアが、コンピュータを通じてアクセス可能な数字データに翻訳されるのである。その結果、グラフィックス、動画像、音声、形状、空間、文章は、計算可能となり、すなわち単なるコンピュータ・データの集合となる、要するに、メディアは、ニューメディアとなるのである。」 67

・「20 世紀末までに、一枚の画像にせよなんにせよ、ニューメディアのオブジェクトをどのように作り出すかということはもはや問題ではなくなった。その代わり、すでにどこかにあるオブジェクトをどのように見つけるかということが新たな問題となったのである。... ニューメディアの出現は、新しいオブジェクトを作り出すことと同じくらい、既存のメディア・オブジェクトにアクセスし、それを再利用することに関心を持つ、こうしたメディア社会の第二段階に符合しているのである。」 79-80

・WJT ミッチェル『リコンフィギュアード・アイ』（1994）訳あり、における離散的画像情報の完璧なデータ化の不可能性、デジタル文化における画像複製の永久性に対する反駁。 103-105

・「精神を外面化する近代の欲望」 112